

総務部発行

元旦に発生した能登半島地震による被害が大変大きく、政府は”非常災害”に指定するとともに国内外から災害義援金やら支援物資、医療支援、ボランティア活動等の災害支援が行われています。一日でも早い復旧が望まれます。当自治会に於きましても、14日の餅つき大会の会場に義援金の募金箱を設置し、17日に石川県に送金しました。2月は最も寒くなる季節になりますので、体調管理と火の管理を忘れずに行なって下さい。

◆行政からのお知らせ

無料によるコロナワクチン接種は令和6年3月31日で終了します。接種希望者は期間内に希望日を決定し、予約して下さい。詳細は保険所にお問い合わせ下さい。（電話：0467-38-3332）

◆子供餅つき大会が開催されました



1月14日、東小和田公園で子供餅つき大会が開催されました。小学校以下の児童を対象の恒例となつ本宿自治会の行事です。コロナの影響で4年間休止していましたが、事前予約者が187人、当日の参加者が136人でした。公園内は久しぶりに活気に満ちた1日でした。

◆東小和田公園の街灯が新替えされました

公園内には4個の街灯が設置されています。老朽化が目立つ状態となったため安全性と照度を高めて災害防止を配慮し電球部分・ポールなどを新替えしました。

◆小和田のあれこれ

2月は節分で恒例の鬼は外、福は内の掛け声とともに豆をまきますが、鬼の面をかぶった人に豆を投げる行事として、親しまれています。なぜ、鬼が出てくるのでしょうか？昔は自然災害・疫病・飢餓などの不幸な出来事の原因を「鬼の仕業」ととらえていました。これらの不幸な出来事の原因を鎮めるために行われたのが節分の鬼払いです。鬼は5色で煩惱を表現しているのが特徴。赤：欲望・渴望 青：怒りや憎しみ・悪意 緑：怠慢・眠気・不健康 黄（白）：甘え・後悔・浮いた心 黒：愚痴・疑いなどを意味する。また豆を用いられる理由は諸説ありますが、古来より「米・麦・冷え・阿波・豆」の5穀には穀霊と呼ばれる精霊が宿るとされていました。5穀の中で最も粒の大きな豆が鬼を払うのに最適と考えられた様です。また「鬼を滅する（魔滅＝まめ）」という言葉の響きから、語呂合わせで豆を用いるようになったとの説もあります。一部の地域では落花生を用いる所もあります。

◆お知らせ

本宿自治会ではホームページを作っております。右下のQRコードからアクセスして、閲覧して見て下さい。色々な情報掲が載しております。

